

第 253 回 日文研フォーラム

天寿の域にいたる道 — 貝原益軒の『養生訓』を中心に —

The Path to a Life Fulfilled: Kaibara Ekiken and his “Lessons for Life”

発表は日本語

Lecture/Discussion in Japanese

貝原益軒は江戸期に輩出した思想家の中で特別な存在である。朱子学者であり実学者でもある益軒はその晩年に『養生訓』を著したが、それは中国の伝統医学文化の理論を踏まえつつ、日本の風土、社会、文化に適応するものを取捨選択し、また自身の経験に基づく多くの新知見を加えたものであった。「人の命は我にあり、天にあらず」。広く愛読されてきた『養生訓』の中で益軒は、「養生の道」を天寿を全うする道として、天道を畏れ、人欲を畏れ、身を慎むことを講じ、健康な明るい生活の営み方を懇切丁寧に説いている。膨大な養生の知識が集約された『養生訓』には、江戸思想家の知恵が凝縮されている。天寿を全うし、人生の喜びをかみしめることこそ人びとの共通の願いだろう。超高齢化社会に生きるわれわれが『養生訓』から学ぶものは実に多い。

発表者

劉 克申 LIU Keshen

上海对外貿易学院日本語学部 教授 / 日文研 外国人研究員
Professor, Shanghai Institution of Foreign Trade
Visiting Research Scholar, IRCJS

コメンター

稲賀 繁美 INAGA Shigemi

国際日本文化研究センター 教授 Professor, IRCJS

日 時

2012 年 2 月 14 日 (火)

開催時間：午後 2 時～4 時

開場：午後 1 時 30 分

参加無料
定員 180 名
申込み不要

会 場

ハートピア京都 3 階 大会議室

京都市営地下鉄「丸太町」駅下車⑤出口

(地下鉄連絡通路にて会館と直結)

京都市バス・京都バス「烏丸丸太町」下車

問合先

国際日本文化研究センター研究協力課
TEL 075-335-2078

